



酒匂の清流

令和4年1月17日(月)発行

校長 津田 将美

合言葉は、正しくおそれる 希望をもって進む

2学期の終業式に、松田小学校に来て初めて全校の前で話をすることができました。やはり子どもたちの顔を見ながら話をするというのは、気持ちよく、嬉しいものです。3学期にも是非そうしたいと願っていたのですが、オミクロン株などの急拡大により、再び放送での3学期始業式となりました。子どもたちの前で話をしたい、という強い思いはあるのですが、ここは、無理をするところではありません。今後も感染状況を見ながら、柔軟に対応していきたいと思います。

放送で子どもたちに伝えたことの一部を紹介します。

校長先生は、3学期の合言葉を考えました。

合言葉は、「正しくおそれる、希望をもって進む」です。

新型コロナウイルスはなかなかやっかいで、今度はオミクロン株という形に変わって、世界中の人々を苦しめています。しかしだからと言って、私たちも負けるわけにはいきません。今まで一生懸命やってきた手洗い、マスクの着用、健康観察などの感染症対策をがんばって続けていきましょう。

確かにコロナのせいで、できないことは多くあります。しかし、その中でもできることもたくさんあるはず。感染症対策をしっかりとしながら、短い3学期に何ができるのか、何をしたいのか、どのように生活を豊かにして、友だちや先生とすばらしい時間を過ごしていくのかを「希望」をもって考えていってほしいと思います。

みなさんが明るい気持ちで、できることに一生懸命挑戦していくことが、心と体の健康につながります。そういう前向きな心こそ、コロナウイルスをやっつける大きな力になるのです。

新型コロナウイルスが形を変えながら再拡大している中、これは正に本音です。私たち教師も子どもたちと相談しながら、コロナの中でも学校生活を豊かにできることを考えていきたいと思っています。松田小学校の子どもたちならできるはず。それに一生懸命応えてくれる職員もいます。話をしながら、マイクに向かって思いを新たにしました次第です。

3学期の初日の中休み、たくさんの子が校長室にあいさつに来てくれました。みんな笑顔で、とても元気で安心しました。一人の子が、私のそばに来てこんなことを言いました。

「私ね、夏休みもね、冬休みぐらい短いといいなって思うの。」

「へ～え、そんなに学校が好き？」

「うん！！だ～い好き！！！」

それを聞いて、私がよほど嬉しそうな顔をしていたんでしょう。

優しい子どもたちは、

「ぼくも大好き！」

「私も大好きだよ！！」

と「大好き」の大合唱がしばらく続きました。

何とも素敵な3学期のスタートとなりました。

子どもたちに負けないように、夢と希望を持って毎日を送っていききたいな、と思いました。



手づくりの修学旅行へ 12月17日



修学旅行は、雨の中のスタートとなりました。

一週間程前から職員室の話題は、この日の天気のことを持ちきりでした。なかなか消えない金曜日の雨マーク。しかし、希望を捨てずに、先生たちは晴天を願いました。

当日、集合時刻の8時を過ぎててもやまない雨。色とりどりの傘の花を開きながら松田駅に向かうと、バスに乗り込む頃には、かなり小雨になっていました。

富士急ハイランドに近づくと共に、空は明るくなっていき、到着時には希望の日差しがさしこんでいました。

間近を落ちるジェットコースターの轟音に、歓声を上げる子どもたち。みんな笑顔です。

時間を守り、決まりを守り、一人ひとりが大切にされたほのぼのとした空間にすることが心地よかったです。6年生は、穏やかな笑顔に包まれながらグループ活動を行っていました。その頃には、厚く垂れ込めていた雨雲はきれいに消えて、鮮やかな青空が気持ちよく広がっていました。

自分たちで決めた修学旅行。自分たちで計画した手作りの修学旅行。仲間と共に過ごした時間。宿泊することはできなかったけれど、子どもたちの心に大切な思い出として残ってくれるといいです。

この日を心のエネルギーに、残りの学校生活でも、かっこいい6年生の姿をたくさん、下級生に示してくれると思います。

良い一日となりました。



伝統を守る・つなげる

1月5日に、松田町の賀詞交歓会に出席しました。その際、ジュニアリーダーの取り組みで、松田町の大名行列の披露がありました。

今年度もまた、松田町の観光祭が中止になり、大名行列も披露の場がありませんでした。しかし、この伝統を「つなぐ」ことに子どもたちも一役を担っているということも多くの方に観ていただけて、本当によかったと思いました。

保存会のみなさんは、本校の4年生に毎年大名行列の伝統について伝えに来てくださっています。そのご指導の中には、伝統を大切にする熱い想いを感じます。そういう人たちの想いを子どもたちもしっかりと受け継ぎ、伝統の良き担い手になってくれるとうれしいです。

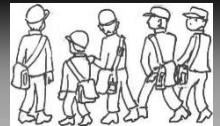
ジュニアリーダーのみなさん、立派でした！



本は心の友

「君たちは どう生きるか」

吉野源三郎:著



何年前かに「君たちはどう生きるか」という漫画が注目を浴び、テレビのニュースなどでも多く取り上げられました。原作は吉野源三郎さんで、大学4年生の時に、授業でこの書が教材となり、衝撃を受けたことを鮮明に覚えています。松田小学校に新採用教員で赴任した時に、何度かこの小説を道徳の題材として使用したこともあります。

再び漫画となって注目を浴びたことを機に、家にまだあったこの本を読み返してみました。人としての生き方は、それぞれです。日々自分の感じることや経験したことへの喜びや口惜しさ、後悔などを心の中に積み上げながら、どう生きるのかを決めるのは、他ならぬ自分自身です。この本の中は、そういう心の動きや経験の積み重ねを注意深く見つめていくことの大切さを教えてください。

3学期の始業式に子どもたちにも紹介をしました。漫画と小学生向けの文庫版を購入し、校長室の前に置いてあります。さっそく手に取って読んでくれる子がいて嬉しかったです。

